

お出かけリサイクルセンター

出張ごみ減らし隊



どんな処理をしたらいいのかわからない・・・

平日は忙しくて資源ごみが出せない・・・



資源ごみの回収、ごみの相談を行います。

- ・資源ごみ回収（ペットボトル、ビン、家電小物類、乾電池・蛍光管、金物）

※資源ごみの詳細及び出し方は、飛騨市保健衛生カレンダーをご覧ください。

※資源ごみ以外のものは取り扱っていませんので持ち込みはご遠慮ください。

- ・ごみ相談所を設置（ごみについて、どのような相談も受け付けます。）

開催日時

9月13日（日）

13:00～15:00

開催場所

飛騨市役所 西庁舎入口横

<h2>ペットボトル</h2>	<p>透明のビン 茶色のビン その他のビン</p>	<h2>家電小物類</h2>	<h2>乾電池・蛍光管類</h2>	<h2>金物</h2>
<p>出し方のルール PET</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水ですすぎ、乾かし、ラベル、キャップを取る。(ラベル、キャップは「プラスチック」へ)  <p>出せるもの(の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薄袋飲料水(ミネラル)・酒・しょう油 ・ペットボトルは「プラスチック」へ  <ul style="list-style-type: none"> ①取っ手(しぼり紐・桎梏など)はそのままで大丈夫です。 ②茶しびや塗料などが付いたものは、その部分を切り取って下さい。(汚れた部分は「可燃ごみ」へ) ③紐ラベルのはがし残しが張り付いたものはその部分を切り取って下さい。(切り取った部分は「プラスチック容器包装」へ) 	<p>出し方のルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ●透明のビン、茶色のビンその他のビンに分けて出して下さい。 ●水ですすぎ、乾かす。 ●異物を入れない。(クレコなど) ●キャップ、ぶた、ラベルは取る。 ●紙ラベルは取らなくても大丈夫です。 <p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ドリカラスビン(きの見かけ方注意)は、ビン底で判断。 ②割れたビンでもOK、ただし、コナチカからこぼれるものは「埋立ごみ」へ  <ul style="list-style-type: none"> ③注ぎ口のプラスチックの部分は「プラスチック」へ ④コップ、風呂は「埋立ごみ」へ ⑤キャップ、フタ、ラベルはできるだけ分別して下さい。 	<p>出し方のルール</p> <h3>分解禁止</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●分解したものは、取集しません。 ●電池は取り外す <p>出せるもの(の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、電池で動くもの ・腕時計、掛け時計、オーガナイザー、スタンプ、ラジオ、ドライヤー、電気ポット など ・電源アダプター ・電動おもちゃ ・電子体温計 ・コード類 ・パソコン(液晶モニターは除く) ・タワレット ・携帯電話 ・スエードプロセッサ ・電気毛布 など ・ドライヤー 	<p>出し方のルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボタン電池は1つずつ、面にテープを貼って出して下さい。 ●割れた蛍光管は袋に入れてしぼって出して下さい。 <p>出せるもの(の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●蛍光管で120cmより長い物はリサイクルセンターへ直接搬入して下さい。 <p>出せるもの(の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタン電池・乾電池 ・充電式電池 ・モバイルバッテリー ・直管型蛍光管 (120cm以下) ・丸型蛍光管 ・電球型蛍光管 ・割れた蛍光管 ・白熱電球・LED電球 ・水銀体温計 	<p>出し方のルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ●なるべく可燃部分と分離する(可燃部分は「可燃ごみ」へ) ●金属が付いているが、分離が困難な物はそのまま「金物」へ <p>出せるもの(の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傘(ビーチ/ラジカルは×) ・(持ち手やビニール部分はそのまま良い) ・鍋焼きうどんの器 ・カシメのぶた、キャップ ・スプーンの缶 ・カセットコンロのガス缶(缶を割き、中身を完全に排出) ・一升ビンの口の巻紙(アルミ製) ・スチールスチール ・ラジカセ ・まほうペン など 